



一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

＜品福、取組みの紹介 特集1＞

- (一) らうんじ
- (二) サービス向上委員会の取組み・チェックリスト
- (三) 研修について・ヒヤリハットの取組み
- (四) 相互視察について・保育園お泊り保育
- (五) ボランティア紹介・しなふくの給食「彩・楽・健」
- (六) 豆知識・カフェ紹介・しなふく紅葉まつり案内

かもめ園(身体)の皆さん、那須モンキーパークへ。「まさか肩に乗ってくとは思わなかった!!」

らうんじ

平成二十八年度上半期も様々な事があ
りました。熊本地震や世界で起きるテロ・
何より福祉に携わる私が衝撃を受けた
のは、七月二十六日未明に起きた津久井
やまゆり園の殺傷事件でした。被害者の
皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。
お子様を大切に慈しんでいらしたご家族
のお気持ちには如何ばかりかと、今も胸が
張り裂けそうになります。私自身も聴覚
障害者なので、容疑者の「障害者は要ら
ない」発言に悲しみが深まるばかりです。
一人ひとりに輝く人生があり、かけがえ
のない命です。奪われていい命はないは
ずです。全国手をつなぐ育成会連合会会
長の久保厚子さんが出された緊急声明は、
胸打つものがありました。障害を持った
皆さんが堂々と生きて行けるよう支援し、
社会を変えていく責任が私たちにはある
と改めて思いました。

平成二十八年四月より障害者差別解消
法が施行されました。内閣府のリーフレッ
トによると、この法律は、障害がある人
もない人も、互いにその人らしさを認め
合いながら、共に生きる社会をつくるこ
とを目指しています。

福祉とは何か、私は何をなすべきかを
もう一度考えながら、心豊かに、想像力
を働かせて気配りし、毎日、丁寧に生き
ることを心掛けたいと思います。

サンかもめ 施設長 藤井敦子

サービス向上委員会

取り組みの紹介



今年度も半期が経過し、各事業所においても日々利用者の皆様への支援を積極的に進めております。

今年度、サービス向上委員会では三つの大きな取り組みを行います。

まず、「接遇チェックシート」を実施します。このチェックシートを活用し、日々のマナー等、自身の対応を振り返ることに活用します。

次に、「各事業所サービス向上取り組みテーマ」の設定を行います。継続的に改善を積み重ねられるよう、発表の機会や冊子にして残して行く予定です。

最後に、「スマイルキャンペーン（仮称）」を紅葉まつりの期間にあわせて行う予定です。私たち職員自身の笑顔はもちろんのこと、私たちの言葉、対応、行動で、関わる



心障会館 サービス向上の取り組みの一つ、朝の手話あいさつ練習

皆様を「笑顔にしたい」というキャンペーンです。「スマイルキャンペーン」と聞いて懐かしさを感じられる方はいらっしゃいますでしょうか？時代や制度は変わっても、変わらぬ品川総合福祉センターの心意気がここにあります。今後も、サービス向上を進めて参ります。応援のほど、よろしく願います。

チェックリスト

朝礼の行動指針音読

朝、定期的に（事務局は月曜日）品川総合福祉センター職員として、あるべき行動指針を確認しています。

一・私たちは、常に学習し、より良い支援、サービスの提供に努めます。

二・私たちは、常に、誰に対しても、丁寧で優しい言葉で接します。

三・私たちは、常に人権を意識して、支援やサービスを実施します。

四・私たちは、常に利用者の生活空間の美化に努めます。

五・私たちは、常に職場の整理整頓と美化に努めます。

この五項目を先導者の後に全員で読み上げます。その際には利用者の皆さんを思い浮かべながら、職場を見渡しなが、自分の表情を確認しながら、できるだけ大きな声で後に続きます。



毎週月曜日に、事務局全員で読み上げる行動の指針

毎月一日（ついでに）は「利用者の人権、生活を守るためのチェックリスト」でそれぞれ自身の行動を検証し更正文法。法人の目的である「利用者への良いサービスの提供」に向け、福祉の仕事を続けていくことに必要な事項の確認を毎月実施することにより、常に意識し、さらに高みを目指すことを考えていきます。

「研修委員会」

研修いろいろ紹介

当法人では、社会福祉法人を取り巻く変化に伴い、社会福祉ニーズが多様化・複雑化してきていることから、各職員の資質向上とサービス向上等を目的に様々な研修を開催しています。

法人内の研修計画では、全体研修としての「しなふく向上発表会・研修報告会」の開催や、階層別研修としては、法人の理念からコミュニケーションの取り方・報道相のあり方、問題解決やリーダーシップの取り方等の研修を行い、職員のキャリアや職層に応じた研修を行っています。また、技能研修では、「接遇研修」「メンター研修」「交換研修」「救急法研修」などあり、目的別研修では「人権擁護研修」を開催し、その他「特別研修」として勤務終了後外部講師を招いて行うものもあり、様々



法人全体で人権研修を行いました。
(参加者185名)

な学習の機会を設け職員の知識向上とサービス向上に努めています。

その他、各職員の自己啓発と資格取得支援として勉強会を開催するなど、技術指導等のスキルアップ支援や質の向上を目的に行っています。

このように当法人では、職員が常に学習し向上心・向学心を保ちつつ、より良い利用者支援に繋がっています。



ヒヤリハットの取り組み紹介

かもめ園身体では、ヒヤリハットの用紙を七か所に設置し、いつでも記入することができますようにしています。



「ヒヤリ・ハット」メモ
いつでも手が届く場所にあります。

て記入例等を作成し、会議等でヒヤリハットの在り方や活用方法を説明し、全体周知を図っています。ヒヤリハットの書式は「いつ?」「どこで?」「誰が?」「何があった?」「何をしました?」「原因と対策」を記載する欄があります。

ヒヤリハットの発生時には、その日の終礼にて報告と周知を行っています。



一件の重大なトラブル・災害の裏には29件の軽微なミス、そして300件のヒヤリ・ハットがあるとされる。
(ハインリッヒの法則を図式化したもの)

また、記入されたヒヤリハットは、担当職員で回収し、月に一回「どうして起きてしまったのか」また、その対応策等について分析し検討しています。その中でより重要な事例については、職員会議で報告し、全体でも再検討するようにしています。

発生したヒヤリハットを一つ一つ検証し適切な対策を講じ、各職員へ周知徹底を行うことで、利用者が日々安心して安全な生活を送れるように取り組んでいます。

相互視察制度とは

「その目的と効果」



相互視察制度とは、当法人の職員が法人内の他の事業所を視察し、お互いの事業所の運営状況について検証し合うシステムで、平成十四年から行なっています。

視察した事業所の課題を明確にして、その対応策を助言することにより法人全体の事業所運営のレベルアップを図ることを目的としています。事業所運営に係る基本事項の

確認だけでなく、毎年重点項目を設定し職員ならではの視点で検証を行います。今年度の重点項目は、非常時対策を含む施設管理運営および人権についてでした。特に、利用者本位のサービスについ



では入念に確認を行いました。視察の際は、利用者と職員に対して行うヒヤリングや事業所内の見学を重視して行います。顔見知りの職員同士だからこそ話せることや、事業所を知っているからこそ気付くことを見逃さず助言します。また、視察した事業所の取り組みで評価できるところは、自分の事業所を向上させるヒントへ繋がります。

法人のどの職員も、より良いサービスを提供したいという目標は一緒です。この相互視察制度を通し、職員一同更なるサービスの向上を目指します。

八潮中央保育園

み～んなで お泊り保育

六月二十一日（金）、二十二日（土）八潮中央保育園の年長組の園内宿泊保育がありました。

宿泊保育を実施している園が品川区の中でも少なくなっていることもあり、「この行事があるから・・・」と入園を希望される方もいらっしゃるし、園児にも保護者にとっても園生活の中の大きなイベントの一つとなっています。

自分たちだけで食べる夕食、朝食の食材の買出しに出掛けたり、事前に衣装作りから取り組み、かっぱごっこを楽しんだり、みんなで一緒にワイワイお風呂に入り、大きなホールで眠ったり、事前に作ったオリジナルふり

かけを使っておにぎりを握ったり・・・と盛りだくさんの二日間となりました。

二日目の朝、一番に「ヤッター！お泊りできたぞー！」という声が聞かれ、子どもにとつては、保護者の元を離れ、一晚を過ごすということがいかに大冒険だったかがよくわかる一言でした。

二日間の様々な経験を通して、子ども達は友達同士の関係を深めていったように思います。

今後も健やかな成長に繋がるよう、日々の保育を大切にしていきたいと感じています。



皆で食べるご飯はおいしいね！



ボランティア紹介

クローバーの会



今回は、法人で活動される傾聴ボランティア・クローバーの会をご紹介します。

同会は、十五年前に発足しました。一人のご利用者からの『いろいろな話を聞いて欲しい。』という要望から、心の声を聴く取り組みがスタート。初めは四名だったメンバーも現在では二十七名のボランティアさんが登録されています。現在の活動は、八潮のセンター本部内のかもめ園（知的障害者・身体障害者対象）、かえで荘、中延複合施設での傾聴を基盤とする各種ボランティア活動です。お話をきいていた

だいたご利用者からは「すつきりした」「安心した」「笑顔になれた」「優しくなれた」との声を聞きます。傾聴は大変奥深く、学習にも多くの時間を必要とするそうです。ボランティアをボランティアが支える仕組みもあり、会の皆さんは定期的に学習を積み重ねています。介護の場だけではなく生活の場、心を通わせる場の中で、人の話を聞く。それもこころの声を聴くことに自らの心を傾けることで自分の心が豊かになっていくことを体感できます。

心の声をきくことにご興味をもたれた方は、是非クローバーの会をのぞいてみませんか？



中延のカフェで、、、活動のひとつ

しなふくの給食

大井在宅サービスセンター

「彩・楽・健」

大井在宅サービスセンターでは、高齢者が利用するデイサービスとして月曜日から土曜日まで毎日昼食を提供しています。平成二十七年より品川区二葉町にある「つき朋（つきほ）」というお総菜屋さんと提携して、食材を運び、当施設の厨房で盛り付けて提供するようにしました。

肉も野菜も冷凍食品を一切使用していないため、味も彩りも非常に良く、利用者の皆さまから大好評です。



野菜が多く栄養のバランスも良好！



盛り付けも役割の一つです。

また、これまで対応できなかったソフト食（見た目は食材の形を残しながら、歯がなくても上あごでつぶせる程に柔らかく調理した食事）を提供できるようになりました。これにより、食事を安全かつ楽しく食べられるようになっていきました。始まってから一年が経過し、今後は行事食も充実させていきたい！と夢が広がっています。

紅葉のしくみ

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。

秋といえば紅葉を連想する方も多いはず。今回は紅葉のしくみについてご紹介します。

落葉樹はなぜ冬になると紅葉して葉を落とすのでしょうか。冬になると太陽光が減り、空気も乾燥していきます。そうすると葉では春や夏ほど光合成ができなくなり、しかも呼吸のための穴から水分がどんどん逃げ出してしまうことになりま。そうになると、樹全体がダメージを受けてしまうため、植物は思い切ったての葉を落としてしまい、栄養と水分を枝や幹に蓄える

豆知識

という作戦をとります。これが落葉のしくみです。では、紅葉するのはなぜでしょうか？

葉を落とすため、樹は葉の付け根にシヤッターをおろして養分や水分を送るのをやめてしまいます。すると葉の中にあつた光合成のための色素・葉緑体が分解してしまい、徐々に緑色が失われます。同時にこの時、葉の中に閉じ込められてしまつた糖類がアントシアニンという赤い色素に変化していくのです。そうして緑がなくなり赤が増え、葉は徐々に赤く染まっていきます。やがて栄養と水分を使い切ると真っ赤な落ち葉になつていく、というわけ。品川区内の紅葉の名所としては、・池田山公園・林試の森公園・御殿山庭園などがあります。皆さんも是非見に行つてみてくださいね！

カフェ紹介「ココリナ」



平成二十八年度四月より、月に一回、お昼時のしなふくに、優しい音色が響きます。『ココリナデュオうぐいす』の皆さんが、ココリナとバイオリンで、数十曲を演奏してくださいっています。お昼のひととき、ロビーはご利用者であふれています。歌をくちづさむ方もいます。ご利用者はもちろん職員も癒されています。この演奏の日はなぜか仕事もはかどる？。心躍りながらパソコンの手も軽やかに：。ボランティアさんの温かい演奏とお気持ちに支えていただいております。



演奏が始まると、ロビーにはたちまち人だかりが。

紅葉祭りのお知らせ

『広げよう仲間の輪』をコンセプトに、第二十回しなふく紅葉まつりを開催いたします。地域の皆様とともに、笑顔あふれる一日が過ごせますように沢山の企画をご用意しています。皆様のご来場をお待ちしております。

日時…十月二十三日(日)

時間…十時半～十四時半

場所…品川区八潮五の一の内容…模擬店・作品販売・法人施設作品展示・アトラクション・キッズコーナー・抽選会・コンサート等。当日はハロウィンの仮装でのご来場大歓迎。

あ・と・が・き

熱戦に沸いたオリンピックの夏も、気が付くと鈴虫の音と共に涼秋の季節。今年は、“スポーツの秋”と行きたいところですが、“実りの秋”の魅力に心揺れ動くこの頃です。(うめだ)